

[果樹部門 平成29年度 指導参考資料]

事項名	国内で購入できるカシス新品種の特徴			
ねらい	国内で苗木購入可能なカシス品種の特徴調査を行ったところ、既存品種「青森在来」と比較して異なる熟期や果実の大きさとなることが明らかとなったため参考に供する。			
指導参考内容	1 カシス品種の特徴			
	収穫始め （「青森在来」との比較）	品 種 名	果実の大きさ （1果当たり）	
	早 い	ザルニツツア	中	中程度
		オグニスタヤ	大	中程度
		ブロード	大	中程度
		ツェマ	大	多 い
		ラジアント	大	中程度
	同程度	シュワルゼ	小	少ない
		ネービス	中	多 い
		ロモンド	中	中程度
アンディガ		小	多 い	
遅 い	テ ナ	小	中程度	
	サレック	中	少ない	
	ボスクープジャイアント	小	少ない	
	ウエリントン	小	中程度	
—	青森在来	小	多 い	
<p>(注) 1 果実の大きさ：大（1g以上）、中（1～0.8g）、小（0.8g） 2 収穫量：多い（1.5kg以上）、中程度（1～1.5kg）、少ない（1kg未満）</p>				
2 収穫盛期 いずれも、良品果である「黒色」、「紫色」の果実が90%以上の頃に一斉収穫できる。				
期待される効果	1 複数の品種を導入することでカシスの収穫期間が広がり、労力分散が図られる。 2 果実の大きい品種を導入することで生果需要にも対応でき、利用場面が広がる。			
利用上の注意事項	カシスの品種別での苗木販売はニッポン緑産（株）が多数行っているが、それらの多くは商標登録されている会員制品種である。会員制品種の購入は生産者単位での会員登録を行い、誓約書を交わす必要がある。購入条件は1品種5本以上の購入、苗木の自家増殖及び譲渡の禁止及び果実販売での品種名表示義務などである。			
問い合わせ先（電話番号）	りんご研究所 県南果樹部（0178-62-4111）	対象地域及び経営体	県下全域のカシス作付経営体	
発表文献等	平成25～28年 試験研究成績概要集（特産果樹）（りんご研究所）			

【根拠となった主要な試験結果】

表1 カシス各品種の生育ステージ、果実重、収穫量及び樹の生育

(平成25～28年 青森りんご研県南果樹)

品種名	満開日 (月/日)	収穫始め (月/日)	100果重 (g)	収穫量 (g/樹)		樹高 (cm)	樹幅 (cm)	樹勢	樹姿
				H25	H28				
ザルニツァ*▲	5/ 4	6/29	84.0	8	1,007	88	99	中	やや開張
オグニスタヤ*▲	5/ 4	6/29	121.5	61	1,403	70	77	弱	開張
ブロード*▲	5/ 4	6/30	144.1	33	1,135	64	64	弱	開張
ツェマ*▲	5/ 4	7/ 2	105.3	23	1,643	93	100	やや強	中
ラジアント▲	5/ 3	7/ 3	143.7	208	1,340	70	61	やや弱	やや開張
シュワルゼ▲	5/ 8	7/ 6	73.8	403	873	87	83	弱	直立
ネービス▲	5/ 5	7/ 7	99.1	417	1,798	88	107	やや強	開張
ロモンド▲	5/ 5	7/ 7	91.7	598	1,330	81	85	中	中
アンディガ▲	5/ 7	7/ 7	70.4	583	1,605	91	107	やや強	やや開張
テナ▲	5/ 5	7/10	78.7	1153	1,393	87	105	強	やや直立
サレック▲	5/ 5	7/10	83.7	712	717	82	94	やや強	中
ボスクープジャイアント	5/ 9	7/15	56.3	407	522	97	95	やや弱	中
ウエリントン	5/ 6	7/15	61.2	482	1,015	89	104	強	中
青森在来 (対照)	5/ 8	7/ 6	63.0	109	2,046	121	130	強	開張

- (注) 1 樹齢：平成28年で6年生。ただし、*印は5年生。
 2 満開日：樹全体の8割が開花した日。平成25～28年の平均。
 3 収穫始め：黒色に着色した果実が樹全体の2割以上みられ、すぐりもぎであれば収穫を開始できるとした日。平成25～28年の平均。
 4 100果重：平成26～28年の平均。ただし「サレック」、「ボスクープジャイアント」及び「ウエリントン」は平成26年を除く。
 5 樹高、樹幅、樹勢及び樹姿：平成28年のデータ。
 6 品種名の▲印はニッポン緑産(株)の会員制品種。

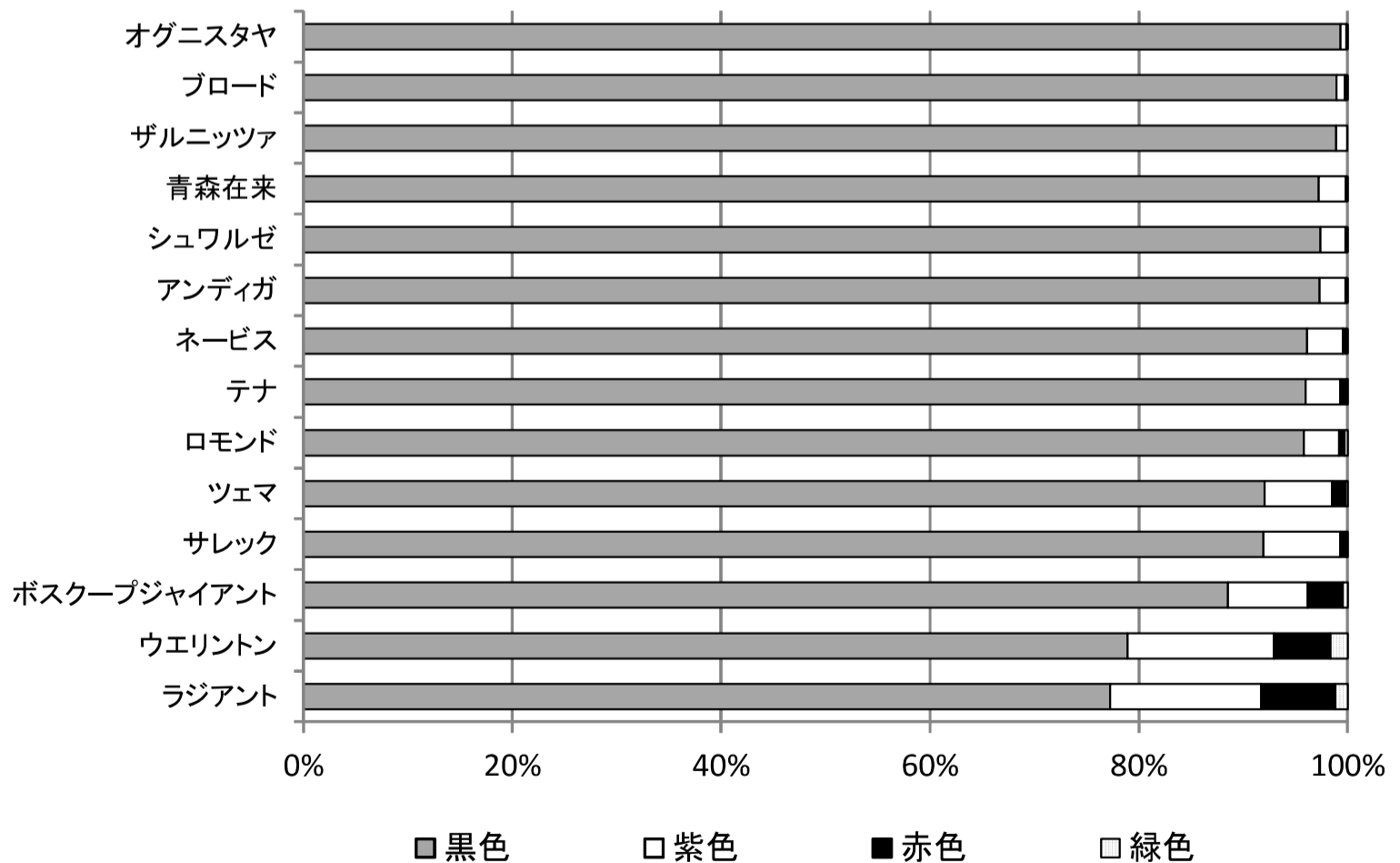


図1 カシス各品種の収穫盛期の着色程度別果実割合

(平成28年 青森りんご研県南果樹)